

セーフチャーチ聖書研究：リーダーシップ、権力、脆弱性

聖書の箇所

マルコによる福音書 10 章 35～45 節

ヤコブとヨハネの願い

³⁵ ゼベダイの子ヤコブとヨハネが進み出て、イエスに言った。「先生、お願いすることをかなえていただきたいのですが。」³⁶ イエスが、「何をしてほしいのか」と言われると、³⁷ 二人は言った。「栄光をお受けになるとき、私どもの一人を先生の右に、一人を左に座らせてください。」³⁸ イエスは言われた。「あなたがたは、自分が何を願っているのか、分かっていない。この私が飲む杯を飲み、この私が受ける洗礼(バプテスマ)を受けることができるか。」³⁹ 彼らが、「できます」と言うと、イエスは言われた。「確かに、あなたがたは、私が飲む杯を飲み、私が受ける洗礼(バプテスマ)を受けることになる。」⁴⁰ しかし、私の右や左に座ることは、私の決めることではない。定められた人々に許されるのだ。」⁴¹ ほかの十人の者はこれを聞いて、ヤコブとヨハネのことで腹を立て始めた。⁴² そこで、イエスは一同を呼び寄せて言われた。「あなたがたも知っているように、諸民族の支配者と見なされている人々がその上に君臨し、また、偉い人たちが権力を振るっている。」⁴³ しかし、あなたがたの間では、そうではない。あなたがたの中で偉くなりたい者は、皆に仕える者となり、^[a]⁴⁴ あなたがたの中で、頭になりたい者は、すべての人の僕になりなさい。^[b]⁴⁵ 人の子は、仕えられるためではなく仕えるために、また、多くの人の身代金として自分の命を献げるために来たのである。」

解説

この箇所でイエスとその弟子たちに出会うとき、イエスはひたすらエルサレムに向けてあり進んでいます。弟子たちは、何か大きくて重要なことが起ころうとしていると感じますが、イエスがご自分の苦しみと死について何度も予言することの意味について理解するのは困難です。それはイエスの使命と奉仕に対する弟子たちの理解とはまったく合わなかったということです。それは弟子たちにとっては考えられないことです。

何世紀にもわたって解説者たちは、ここでとりあげている会話について、ヤコブとヨハネをかなり厳しく批判してきました。この2人のきょうだいは、イエスとの密接な関係を利用して、イエスが間もなく確立されると確信している新しいみ国で、自分たちの重要な地位と権力を確保しようとしています。1人はイエスの右に、もう1人は左にと、自分たちができるだけイエスに近くにいることを思い描いています。

ヤコブとヨハネは、イエスが教えてきたことを全く理解していない無知であるか、あるいは権力欲と野心に満ち、イエスにかかわる得られるものを求めて従っているのかを評価するのは容易いことです。他の弟子たちは、何を願ったかに気づいたとき、確かに2人のことを非難しましたが、それは自分たちが理解していないことに気づいたからなのか、それとも同じ願いを先にできなかったことに腹を立てたからなのかは明らかではありません。

この話を読むと、次に何が起こったかを知ることができます。弟子たちは知りませんでした。イエスはエルサレムで王の座に意気揚々としてついたのでなく、逆に裏切られ、嘲けられ、鞭打たれ、屈辱

あなたの声呼びかけに加える

を受け、そして殺されたことを私たちは知っています。後にイエスの右と左に高くあげられるのは、イエスの横で十字架につけられた2人の盗賊だけでしょう。

イエスは、ご自分が直面していることを理解していたようです。イエスは、墮落と苦難の道、すなわちご自分が飲まなければならない杯と耐えなければならない洗礼を見て、きょうだいたちに同じことを経験する覚悟があるか尋ねます。弟子たちの軽率な答えから、イエスが何を言われているのかまったく理解していないことを示しています。イエスが弱さや従順、奉仕について語られている間も、弟子たちはまだ権力と名声だけを見ています。

少し前まで弟子たちは皆、自分たちの中で誰が一番偉いのかを議論していました（マルコ 9:33-37）。問題は、誰が一番偉いかを決めるために人々をランク付けすることが、すなわち誰が一番卑しいのかを決めることになり、これは誰もが避けたいことです。最も卑しいのは弱い立場となることで、これはどんな犠牲を払ってもでも避けるべき立場です。

弟子たちが地位を争い合うのに応えて、イエスは幼い子どもを呼び、その真ん中に立たせ（36節）、その子どもを抱きしめました。イエスの教えは、地位と権力を求める無駄な努力を覆らせます。つまり、一番になりたい者は最後になり、一番偉くなりたい者は最も低くならなければならないのです。イエスは弟子たちに、自らの計画を推し進めたり地位や権力を高めたりすることのできないすべての弱い立場に置かれた者を、イエスの名において受け入れ、抱きしめるよう求めます。そしておそらく、イエスが弟子たちに認識し、受け入れるように求めているのは、自分たちの避けがたい弱さでもあるのでしょうか。

そして、マルコの次の章でも、イエスは弟子たちに子どもたちが最も低くして追い払えるような重要性の序列を押し付けたことを戒めています。

イエスは子供たちを歓迎し、祝福し、弟子たちに模範を示されます。神の国はこのような者たちのものであると。

ここで、幼い子どもたちの何がそれほど重要なのでしょうか。それは、子どもたちが恥じることなく自分らしくあり、他人と自分を比較したり、支配したりする必要がない事からかもしれません。子どもたちは、物事のより大きな枠組みの中で自分の位置や成功、あるいは影響について心配していません。そのようなことは無関係です。子どもたちは単に好奇心旺盛で、探索し学ぶ準備ができています。明るい心とユーモアを持って目の前の課題に取り組んでいます。

幼い子どもたちについても一つ印象的なのは、自分たちが弱い立場にあり、学ぶべきことがたくさんあることを知っているということです。子どもたちは、新しく発展しつつあるスキルを試しているときでも、自分の限界を知っており、すぐに質問したり助けを求めたり、助けを要求したりさえします。自分の弱さを恥じたりせず、そこから逃げようとしません。

これらの話は、イエスがゼベダイの子たちとかかわった背景となっています。しかし、弟子たちの明らかに利己的な質問が私たち全員にもたらすことは、イエスがリーダーシップ、つまり神の世界観におけるリーダーシップをどう見ているかを詳しく説明する機会です。当時の指導者たちは（そして何千年もの間あまり変わっていないが）、自分たちが他の誰よりも優れていると見なした立場から、他の人々を支配するために強制と支配を用いたのとは対照的に（「その上に君臨し」42節）、イエスはリーダーシップを下から仕えることと理解しています。それは少し下からではなく、奴隷という最も低い立場からです。イエスにとって、リーダーシップとは謙虚さと奉仕であり、人間性の共通の弱さを認めることです。

あなたの声呼びかけに加える

人間であるということは、力強くもあり、同時に傷つきやすいということです。これは、共に生き、折り合いをつけるのが難しい緊張なのかもしれません。力とは物事を成し遂げ、世界に働きかけ、反応を引き出す能力を意味します。神は私たちに選択、拒否し、創造し、破壊する力を与えられました。小さな赤ちゃんでさえ、声を用いて保護者から反応を引き出すことができます。しかし、人間である私たちは傷つきやすい存在でもあります。傷つきやすいということは、肉体的にも精神的にも、傷つけられたり危害を受けたりするリスクがあるということです。

自分自身や他者の弱さを拒絶して避け、それに直面しないように自分自身を守るのに十分な力を得ようと努めるのも人間の性です。これは危険な力の錯覚であり、イエスは教えの中でこれを指摘しています。私たちは、所有したり蓄えたり、自分よりも劣っていると思われる人々に自分の意志を押し付けたり、自分の目的を達成するために他者に強要したり操作したり、さらには敵とみなす人々を打ち負かしたりしても、自分自身の弱さを避けることはできません。しかし、私たちの力への欲求は、個人、家族、文化、国家、そして私たちと神との関係を破壊し、永続的な損害や危害を引き起こします。

おそらく、この箇所の課題、つまり私たちに対するイエスの課題は、私たちが自らの力と弱さの間の緊張の中でどのように生きていくかということでしょう。イエスは私たちに、力があれば無敵になれるという幻想を捨て、私たちが持っている力を善のために使うよう求めています。権力や支配欲を手放し、自分の弱さを受け入れれば、何も恐れる必要はなく、何も失うものもありません。私たちはすでに進んでそれを手放しているのです、何も奪われることはありません。

あなたの声呼びかけに加える

ディスカッションの質問：

- ・この箇所でああなたの印象に残っていることは何ですか。
- ・あなたの身の回りにもイエスが他者の「その上に君臨し」と表現したリーダーシップの手本はありますか？気づいたことを述べてください。
- ・あなたの身の回りにも弱い立場にある人々への奉仕に関するリーダーシップの手本はありますか？気づいたことを述べてください。
- ・あなたの人生において、いつ、どこでああなたは力を見せていますか？どのような場面で行動したり、何かをしたり、創造したりすることができますか？どのような場面で、自分の意志を他者に押し付けることができますか？その力をどのように使うことを選びますか？
- ・あなたの人生において、いつ、どこで傷つきやすいですか？誰がそして何が、健康や幸福や未来を危険にさらす可能性がありますか？その弱さをどのように管理することを選択しますか？